

科目名	子どもの保健 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1	前期			
担当者名	新谷 幸江	関連する資格	保育士資格 必修				
授業概要 子どもの特性を理解し、保育に必要な子どもの成長・発達に関する知識を習得する。 子どもの健康保持や増進、発達支援について、保育者としての責任や役割を学ぶ。							
到達目標			成績評価方法				
1. 子どもの心身の健康増進をはかる保健活動の意義を理解できる。 2. 子どもの身体の成長や、運動機能・解剖生理機能・精神機能の発達について理解できる。 3. 子どもが健康に成長できる環境について考えることができる。			・テスト 70% ・プレゼンテーション 10% ・授業への姿勢 15% ・提出物 5% (小テスト・レポート等の内容・提出状況から)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○					70%
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		5%
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		15%
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10%
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション (シラバスを使用) 「子どもの保健 I」で何を学ぶのか、学習の目的・意義について				レポート「私の子ども観」			
2) 地域における保健活動と児童虐待防止				グループワークとプレゼンテーション:「家族関係を考える」			
3) 子どもの発育・発達と保健 1 生物としてのヒトの成り立ち:身体発育 1)				グループワーク 「3歳児の発育」について			
4) 子どもの発育・発達と保健 2 生物としてのヒトの成り立ち:身体発育 2)				小テスト			

5) 子どもの発育・発達と保健 3	グループワーク
生理的機能の発達と保健：各発育期の運動機能の発達	「3歳児の発達」について
6) 子どもの発育・発達と保健 4	小テスト
生理機能の発達と保健：各発育期の睡眠リズム・感覚機能	
7) 子どもの発育・発達と保健 5	小テスト
生理機能の発達と保健：精神機能と発達 情緒と行動	
8) 子どもの発育・発達と保健 6	グループワーク
生理機能の発達と保健：精神機能と発達 知能・空間認知・時間の概念・数の概念・記憶・注意力の発達	「時間の概念が持てると子どもはどのように変わる」
9) 子どもの発育・発達と保健 7	小テスト
生理的機能の発達と保健：精神機能の発達 注意力の発達・思考の発達・言語の発達	
10) 環境及び衛生管理並びに安全管理・子どもの疾病予防と適切な対応	小テスト
11) 子どもを取り巻く環境と心身の健康	
12) 子ども生活習慣と健康 1	グループワーク
基本的な生活習慣の獲得と時期 1)	「子どもと遊び」
13) 子ども生活習慣と健康 2	
基本的な生活習慣の獲得と時期 2)	
14) 子どもの栄養と健康	グループワーク：危機管理 「アレルギーと食品」
15) 子どもの福祉や健康、母子保健に関連する法規	まとめの意見交換
授業外学習	
復習：ノートを整理しながら知識の確認をしてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どもの保健Ⅰ」佐藤益子編集（ななみ書房）	子どもの保健Ⅱ、こどもの保健Ⅲ、乳児保育、障害児保育、小児栄養
備考	
【オフィスアワー】授業の前後で対応します	